

# 「住まいは人権」 安心して住める公営住宅を

「樹木・庭木3m以上でないと剪定しない」などの実態に合わない、見直しを要望

11月15日に熊本県の住宅課へ県営の各団地から寄せられた要望を市民連のみなさんと届け、改善を求めました。団地居住者も参加し、「生の声」を伝えました。



## 昨年<sup>1</sup>の要望が未解決<sup>2</sup>事案の早期実現<sup>3</sup>を求めました

今回は、昨年出された要望を中心に、その後の進捗状況の確認を行いました。参加された方からは、「管理センターから現場を見に来たが全然改善されていない」、説明とは食い違いと訴えられました。

県からは「報告では本人が納得されたとなっている」が、食い違いがあるみたいなので、現場を見て対応することになりました。

その他、湯沸かし器がついていない棟もあるので改善を求めました。県は、風呂や湯沸かし器は空き室から改修をやっているとの回答。これでは、結局、現在入居者は自分で付けないといけなくなるということになり改善を求めました。

特に高齢者の高所作業は危険が伴うので実態に即した早めの対応を求めました。

## 居住者の実態に即した対応・管理を

県営団地の空き家率は20%を超えています。そのため「自治会役員のなり手がいない」、「共益費の負担が増えて困っている」、「草取りや樹木の剪定がままならない」など多くの問題を抱えている実態が浮き彫りになりました。特に4階、5階の高層階は高齢者の入居は困難で、空き家が目立ちます。

県の住宅課も若い人たちの入居促進対策を行っていますが、まだ十分な成果は上がっていません。本来、自治会などを通じて要望を出したほうがいいんですが、困難なので、管理センターから出向いての巡回相談などの対策を要望しました。

実態に合わない管理規定の見直しを検討すべきです。

## いせり栄次議員の一般質問あんない

日時:12月4日(水)

午前11時10分~12時10分(60分)

場所:市役所議会棟5階・本会議場

※どなたでも傍聴できます。

※インターネットでの同時中継は、熊本市議会HPで

### 【質問項目】

・くらしの問題(市電料金値上げストップ・公契約条例・給食費無償化) ・不登校問題 ・地下水の枯渇対策 ・自衛隊基地の強化と空港、港湾の軍事利用について ・市役所建替え問題 他

日本共産党  
熊本市議会だより

熊本市中央区手取本町1-1  
発行:日本共産党熊本市議団

NO. 1390  
2024年11月24日号  
電話 328-2656  
FAX 359-5047

メール:kumamsu@gamma.ocn.ne.jp

HP:共産党 熊本市議団



検索



上野みえこ  
(中央区)



いせり栄次  
(東区)

# 「取水」と「涵養」のバランスを守ることは保全の大原則

## 地下水を枯渇から守るために、「将来予測」の早急な実施を

・・・ 日本共産党熊本県委員会で、県に対し、地下水を枯渇から守る要望 ・・・



11月14日、日本共産党熊本県委員会は、熊本県に対し、「地下水を枯渇から守るために『将来予測』の早急な実施等を求める」要望を行いました。日本共産党市議団も参加しました。

### TSMC 熊本進出をふまえた地下水の「将来予測」は必須

熊本県は「熊本地域総合地下水管理計画」の中で2024年度を目標年度とする「将来推計」を行っています。今年度は、次年度以降の「将来予測」を行う時期となります。

これまでの計画には、TSMC 熊本進出による企業の地下水汲み上げやTSMCと関連企業

進出による地下水涵養域である白川中流域の大規模な開発は考慮されておらず、地下水への大きな影響を及ぼすTSMC進出を踏まえた地下水の将来予測の実施は必須です。

県は要望の中で、「次年度以降の将来予測を検討する」と述べました。

#### 【要望事項】

- (1)地下水を枯渇から守るため、「将来予測」を実施し、公表すること
- (2)地下水涵養の限界を超えることが明らかになったら、企業の立地と、それに伴う開発を規制すること
- (3)JASMに水の再利用のさらなる改善を求めること
- (4)地下水を守るために、環境基本法・水循環法・農村産業法等を厳格に履行すること

### 熊本市水道が100周年を迎えました

## 100%地下水 日本一の水道水を未来へ

1924年に給水を開始した熊本市の水道事業は、今年100周年を迎えました。豊かな地下水によって支えられる熊本市水道は、100%地下水によってまかなわれている「日本一の水道」といえます。

### 地下水保全は、水道事業の基本です

「いのちの水」を未来へ手渡していくためにも、熊本地域の地下水を守ることが何より大切であり、基本です。

TSMC 熊本進出など、熊本の地下水の涵養域となる白川中流域の開発・環境変化によっ

て、地下水に大きな影響が出てくることが予想されます。

かけがえのない地下水を守るためには、経済一辺倒でなく、地下水を取りまく状況の変化を的確に把握し、対策を講じることが必要です。

### 100周年の今、なすべきは地下水を守ること

熊本市水道100周年の節目を迎え、あらためて地下水保全の重要性を認識し、対策を拡充することが求められます。

水道事業として、現在行っている地下水涵養対策をさらに

拡充していくことが求められます。

